

Case : 253

段差を越えようとしてバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

段差を越える際に四点杖の脚が1箇所しか段差を越えておらず、傾きが生じて転倒しそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 歩行補助杖
分類コード (CCTA95)	120318 (四脚杖)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

多点杖はベースが大きい分、段差ではより遠くまで杖を送る必要があります。特に下りる方向では遠くに杖を送る分、身体の前傾も大きくなりますので注意が必要です。また段差にスロープを設置することもあります。杖の送りはさらに遠くなることから、かえって危険度を増す結果になることもあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：段差を越える練習をしていなかった
 人：杖を遠くへ突くことができなかった
 環境：段差があった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 253

段差を越えようとしてバランスを崩し、転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

段差を越える際に四点杖の脚が1箇所しか段差を越えておらず、傾きが生じて転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ